

☆ 「第19回南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム」を開催



2月7日(木曜日)、南多摩保健医療圏(八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)の3保健所(八王子市保健所、町田市保健所、南多摩保健所)の共催により、八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)において「第19回南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム」を開催しました。

このフォーラムは、圏域の地域保健医療協議会の下に位置付けられ、保健・医療・福祉従事者間の連携強化と人材育成・サービス向上を目指して、平成12年度から毎年開催している、当圏域独自の事業です。

今年度は「誰もが住み慣れた地域での生活を送るための地域包括ケアの推進」等を主なテーマとして演題を募集し、口頭発表で11題、誌上発表で2題の発表を行いました。

当日は、地域保健医療協議会委員をはじめ、医師会、医療機関、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、市役所、保健所等から、154名の様々な職種の方の参加がありました。

口頭発表では、看護小規模多機能型居宅介護、摂食嚥下ケア、退院支援、在宅医療と介護の連携等、幅広い分野から様々な取組についての発表があり、参加者からは活発な意見や質問が相次ぎました。最後に閉会の挨拶として、地域保健医療協議会の石館敬三会長から、地域の取組に対するコメントのほか、本フォーラムが今後も更に発展・充実していくことに期待しているというお話を頂きました。

参加者からは、「地域で活動している方々の『顔の見える会』になっていると感じた。」「今後の取組の良いヒントとして学ぶことができた。」「地域の中で自分の職場がどのような役割を果たすことができるか考えるきっかけになった。」等の感想が寄せられました。